

成城学園第2世紀ビジョン ～緑の中での教育～

成城幼稚園の園庭が生まれ変わりました

《自然と共生する感覚を養う》庭から森につながる 2,000 m²の園庭へ

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：渡 文明）は、創立100周年を迎えた学園の将来像としての「成城学園第2世紀ビジョン」に基づき、成城幼稚園の園庭をリニューアル致しました。

新しい園庭は、“自然と共生する感覚を養う庭から森に繋がる園庭”をコンセプトに、豊かな樹木を最大限に活かしています。東京23区内にあるにも関わらず2,000 m²超えの緑豊かな広い園庭で、自然の中でのさまざまな体験・体感を通して生きる力を身につけられるよう、遊び場などの環境を充実させました。

リニューアルにあたっては「安全・安心」に重きをおき、全保護者への説明会を行い、リニューアル計画に高い評価を頂いたうえで実施いたしました。

【安心・安全で、子どもがのびのびと自然に触れ合える園庭へ】

新園庭では、自然地形を活かした遊具・施設の配置をし、水遊び（水に触れる、笹舟を流す、氷が張る様子を観察）のスペースを新しく作ることで、自然（光・風・緑・土・水）と触れあえる環境を更に充実させました。

また、「安心・安全」対策として、文部科学省が推奨する安全基準に適合する遊具・施設の設計を行い、特に水遊びスペースにおける教員配置の配慮を致しました。



<成城幼稚園の教育活動における園庭の位置づけ>

【自然との共生】

- ①「自由遊び」（情操教育・創意工夫）
 - ・「遊び」を通して子どもたちの資質・能力を伸ばす
 - ・主体的、創造的に「遊び」に取り組む
 - ・「同学年・異学年との交流」を通して社会性を養う
- ②自然観察（理数教育）
 - ・観察する、調べる、理解することによる理論的思考力の原点
- ③健康な心と体
 - ・様々な園庭遊具・施設を使いこなすことで、子どもたちの身体・運動能力の増強を図る

